



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6330 URL http://www.toyo-eng.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 脇 謙介 (TEL) 047-454-1521  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	107,176	△5.8	5,055	32.5	4,897	22.1	3,927	63.6
23年3月期第3四半期	113,726	△14.0	3,815	△59.0	4,011	△62.1	2,400	△56.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,039百万円( 45.1%) 23年3月期第3四半期 1,405百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 20.46	円 銭 —
23年3月期第3四半期	12.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 200,432	百万円 68,113	% 33.2
23年3月期	198,387	67,096	32.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 66,525百万円 23年3月期 65,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円00銭(創業50周年記念配当)

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.0	5,500	△19.3	5,200	△25.8	4,000	6.0	20.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	192,792,539株	23年3月期	192,792,539株
24年3月期3Q	899,736株	23年3月期	858,030株
24年3月期3Q	191,916,290株	23年3月期3Q	192,009,704株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 受注実績 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政危機や米国の景気回復の遅れ、中国の経済成長の鈍化などの影響により、景気の先行きの不透明感が一層増しました。日本経済においては、復興需要などを背景に一部に持ち直しの傾向がみられたものの、円高が非常に高い水準で推移しており、企業の海外進出が進む一方で輸出、生産が低迷し、景気回復の懸念材料となっております。

当社グループの事業環境は、新興国の経済発展や世界人口の増加を背景として、エネルギー、社会インフラ、および当社がライセンスを保有する肥料(尿素)などの設備への投資が引き続き数多く計画されておりますが、景気先行きの不透明感が更に増したことで、案件の実現までに時間を要するケースが増えております。加えて、韓国、欧州等のコンストラクターとの競争は熾烈さを増しており、受注環境は依然予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、顧客とのパートナーシップの強化に一層努めるとともに、インド、韓国、中国、マレーシア等に保有する現地法人与一体となって取り組むグローバルオペレーション体制(Global Toyo)をより深化させ、グループとしての競争力、プロジェクト遂行能力の強化を図り、受注の確保およびプロジェクトの確実な遂行に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高(完成工事高)は1,071億円(前年同四半期比5.8%減)、営業利益は50億円(前年同四半期比32.5%増)、経常利益は48億円(前年同四半期比22.1%増)、四半期純利益は39億円(前年同四半期比63.6%増)となりました。また、受注高は1,623億円(前年同四半期比2.7%増)となりました。現在営業活動中の案件を確実に受注に結びつけるとともに、新規案件の発掘、創出に努めてまいります。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

## 〔EPC事業〕

各種プラントの設計(Engineering)・調達(Procurement)・建設(Construction)を主たる業務とするEPC事業では、タイ向けおよびアゼルバイジャン向け発電所、ブラジル向けFPSO(浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備)、ベネズエラ向け肥料(尿素)製造設備、カタール向けリキッドプロセッシングユニットや、日系企業進出案件などのプロジェクトを確実に遂行いたしました。

この結果、EPC事業の業績としては、売上高963億円(前年同四半期比7.3%減)、営業利益42億円(前年同四半期比36.3%増)となりました。

受注については、南米、アジア、中東、ロシア、北米などの各地域で営業活動を展開し、新たにブラジル向けユーティリティ設備建設工事、ブラジル向けFPSOなどの案件を獲得いたしました。

## 〔IT事業〕

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社において、他社開発ERPパッケージ製品を基に展開するソリューション事業および自社の独自開発ERPパッケージ製品に基づくプロダクト事業などを行っており、これら事業の進捗により、売上高88億円(前年同四半期比15.9%増)、営業利益1億円(前年同四半期は営業損失0億円)となりました。

## 〔不動産賃貸・管理事業〕

株式会社テックエステートおよび株式会社サンテックにおいて、不動産賃貸・管理事業を行っており、千葉県習志野市商業施設賃貸事業や、その他の住宅賃貸・管理事業からの事業収入を基盤として、売上高20億円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益7億円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から20億円増加し、2,004億円となりました。これは未成工事支出金が90億円増加した一方、営業債権の回収が進んだことで、受取手形・完成工事未収入金等が40億円減少するとともに、現金預金が32億円減少したことなどによるものです。

負債については、前連結会計年度末から10億円増加し、1,323億円となりました。これは未成工事受入金が81億円増加した一方、営業債務の支払に伴い、支払手形・工事未払金等が26億円減少するとともに、その他流動負債が14億円減少、完成工事補償引当金が13億円減少したことなどによるものです。

純資産については、前連結会計年度末から10億円増加の681億円となりました。これは四半期純利益39億円を計上した一方で、配当金の支払による減少9億円、為替換算調整勘定11億円の減少などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、平成23年11月11日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	45,069	41,778
受取手形・完成工事未収入金等	30,737	26,731
有価証券	43,992	44,312
未成工事支出金	18,763	27,843
繰延税金資産	1,111	1,239
未収入金	8,400	8,439
その他	2,989	3,440
貸倒引当金	△2,372	△2,966
流動資産合計	148,693	150,818
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	29,478	29,061
機械、運搬具及び工具器具備品	3,896	4,091
土地	16,805	16,779
リース資産	2,107	1,898
建設仮勘定	119	27
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,850	△20,706
有形固定資産合計	31,557	31,151
無形固定資産		
4,717		4,250
投資その他の資産		
投資有価証券	9,572	10,447
長期貸付金	4,588	4,572
繰延税金資産	470	965
その他	4,013	3,431
貸倒引当金	△5,226	△5,203
投資その他の資産合計	13,419	14,212
固定資産合計	49,694	49,614
資産合計	198,387	200,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	40,811	38,146
短期借入金	18,774	18,693
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
未払法人税等	533	487
未成工事受入金	33,951	42,136
賞与引当金	1,053	452
完成工事補償引当金	1,892	557
工事損失引当金	677	526
災害損失引当金	95	1
その他	6,472	4,972
流動負債合計	105,261	106,975
固定負債		
長期借入金	15,163	15,018
リース債務	1,281	992
繰延税金負債	5	0
退職給付引当金	4,971	4,807
修繕引当金	842	983
その他	3,764	3,541
固定負債合計	26,029	25,344
負債合計	131,290	132,319
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	20,759	20,759
利益剰余金	28,434	31,402
自己株式	△347	△360
株主資本合計	67,045	70,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	△191
繰延ヘッジ損益	△18	△18
為替換算調整勘定	△2,157	△3,263
その他の包括利益累計額合計	△1,705	△3,474
少数株主持分	1,756	1,587
純資産合計	67,096	68,113
負債純資産合計	198,387	200,432

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
完成工事高	113,726	107,176
完成工事原価	94,403	88,015
完成工事総利益	19,323	19,160
販売費及び一般管理費	15,508	14,104
営業利益	3,815	5,055
営業外収益		
受取利息	260	199
受取配当金	97	160
持分法による投資利益	478	366
雑収入	92	157
営業外収益合計	929	883
営業外費用		
支払利息	554	734
為替差損	77	221
雑支出	100	85
営業外費用合計	733	1,041
経常利益	4,011	4,897
税金等調整前四半期純利益	4,011	4,897
法人税等	1,717	941
少数株主損益調整前四半期純利益	2,294	3,955
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△106	28
四半期純利益	2,400	3,927



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,294	3,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△247	△662
繰延ヘッジ損益	21	△0
為替換算調整勘定	△662	△1,164
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△88
その他の包括利益合計	△888	△1,916
四半期包括利益	1,405	2,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,604	2,158
少数株主に係る四半期包括利益	△199	△118

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	103,958	7,611	2,156	113,726	—	113,726
セグメント間の内部 売上高または振替高	138	35	180	354	△354	—
計	104,096	7,646	2,337	114,080	△354	113,726
セグメント利益 または損失(△)	3,101	△23	735	3,813	1	3,815

(注) 1 セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益または損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	EPC事業 (百万円)	IT事業 (百万円)	不動産賃貸・ 管理事業 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高						
外部顧客への売上高	96,335	8,819	2,021	107,176	—	107,176
セグメント間の内部 売上高または振替高	159	13	173	346	△346	—
計	96,494	8,833	2,194	107,522	△346	107,176
セグメント利益	4,228	123	704	5,056	△1	5,055

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間におけるEPC事業およびIT事業の受注実績は次のとおりであります。

期別	工事別	期首繰越 工事高 (百万円)	期中受注 工事高 (百万円)	計 (百万円)	期中完成 工事高 (百万円)	次期繰越 工事高 (百万円)
前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	海外					
	化学肥料プラント	33,908	5,441	39,349	8,617	28,614
	石油化学プラント	35,475	5,867	41,343	16,770	22,703
	石油精製プラント	44,600	7,491	52,091	23,932	24,745
	エネルギー関連プラント	13,920	96,309	110,229	18,136	91,091
	一般製造設備関連	2,594	9,537	12,132	1,452	10,610
	IT関連	95	137	233	160	71
	その他	1,356	746	2,103	1,056	796
	小計	131,952	125,530	257,483	70,126	178,633
	国内					
	石油化学プラント	8,893	1,051	9,944	9,235	701
	石油精製プラント	5,708	750	6,459	6,269	141
	エネルギー関連プラント	5,073	6,766	11,840	1,574	9,652
	一般製造設備関連	12,536	10,111	22,647	11,197	11,421
IT関連	3,340	7,915	11,255	7,450	3,522	
その他	673	5,951	6,625	5,715	987	
小計	36,226	32,546	68,773	41,442	26,426	
合計	※△7,930 168,179	158,077	326,256	111,569	※△12,383 205,059	
当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	海外					
	化学肥料プラント	55,473	16,210	71,684	9,654	60,420
	石油化学プラント	14,779	29,719	44,498	13,992	29,622
	石油精製プラント	19,466	10,106	29,572	12,590	12,394
	エネルギー関連プラント	94,122	9,094	103,216	37,440	63,889
	一般製造設備関連	19,170	9,679	28,849	4,718	23,239
	IT関連	97	219	316	196	117
	その他	293	54,603	54,897	773	54,117
	小計	203,403	129,632	333,036	79,365	243,801
	国内					
	石油化学プラント	823	6,237	7,060	1,455	5,570
	石油精製プラント	518	2,156	2,674	941	1,726
	エネルギー関連プラント	6,870	3,587	10,457	1,192	9,252
	一般製造設備関連	8,968	6,623	15,591	8,483	7,108
IT関連	3,300	8,752	12,053	8,622	3,389	
その他	809	5,403	6,212	5,092	1,119	
小計	21,290	32,760	54,050	25,788	28,166	
合計	※△8,193 224,693	162,393	387,087	105,154	※△9,947 271,967	

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しており、消費税等は含まれておりません。

2 期中完成工事高は、外貨建受注工事高のうち期中完成工事高に係る為替差分(前第3四半期連結累計期間6,342百万円、当第3四半期連結累計期間8,740百万円)を控除しております。

3 次期繰越工事高は、前期以前に受注した工事の契約変更等による調整分(前第3四半期連結累計期間3,284百万円、当第3四半期連結累計期間1,224百万円)を控除しております。

4 ※印は、外貨建契約に関する為替換算修正に伴う減額を示しております。